

# 九州大学経営協議会議事録

日時：平成23年1月27日（木）13：00～15：10

場所：九州大学本部第一会議室

出席者：（略）

## 【紹介】

新任の委員並びに陪席の新任の理事及び総長特別補佐について紹介があった。

## 【前回議事録の確認】

前回10月26日開催の議事録について確認を行った後、今後、ホームページへ掲載し、学内外へ公表する旨の発言があった。

## 【審議事項等】

### 1 中期計画の変更について

農学部附属北海道演習林及び馬出地区の土地の一部の譲渡計画決定に伴う中期計画の変更並びに医学部、歯学部、工学府及び統合新領域学府の入学定員の変更に伴う中期計画の変更について説明があり、審議の結果、これを議決した。

### 2 九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所に係る給与等の特例に関する制度の新設について

九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所に係る給与等の特例に関する制度の新設に関し、本会議の書面会議の結果、議決したことについて報告があった。

### 3 平成23年度予算の内示について

平成23年度の政府予算案の概要及び九州大学関係の予算内示について資料に基づき報告があった。その際、以下のような意見等があった。

- ・ 今回の政府予算案について、九州大学としては総合的にどう評価しているのか。  
→ 概算要求前には今後3年間毎年10%削減される可能性も示唆されていたが、最終的には、科学研究費補助金の基金化なども含め、一定の理解が示されたものと考えられる。ただし、24年度あるいは第二期中期目標期間中の予算については全く見通すことができない状況である。
- ・ 外国人留学生の受入れよりも日本人学生を海外へ派遣することの方が重要ではないか。九州大学としてもっと積極的に日本人学生の派遣を行うべきである。また、受入れと派遣では予算額も大きく異なり、海外へ行く学生の大部分は自費で行っている状況である。政府に対してもしっかりと日本人学生の海外派遣制度の充実を要請していくべきである。
- ・ 海外へ派遣する学生に対し、九州大学ではどのような経済的支援を行っているのか。  
→ 授業料については協定校間では免除されるほか、渡航費や滞在費についても様々な支援制度がある。
- ・ 強い人材の育成における九州大学の特徴は何か。  
→ 大学の教育・研究は、新しい領域を作るとともに、時代の要請にも応えていく必要がある。多様性が重要である。このため、それぞれの特徴を活かしながら、イノベーションの基になる技術・基礎科学を大事にやっていくことが重要である。また総合大学の強みを活かして、日本人としての教養と文化の素養をもった上でリーダーシップ

を發揮できる人材を育成していきたいと考えている。

- ・ 来年度政府予算案でも大学の国際戦略の強化が重視されているようだが、九州大学は責任をもって大学の国際化に取り組むべき立場にあり、具体的な提案を政府に突き付けていくべきである。
- ・ 若い任期制教員のポストの確保も非常に重要である。若手研究者も帰国後就職ができないからという理由で長期間海外に出たくないということになってきている。日本全体の問題かもしれないが、九州大学からも積極的に解決案を提案していくべきではないかと思う。
- ・ 海外に出たら就職ができないとの問題に対して、企業ももっと優先的に海外に出た若者を評価して採用していくようなことが必要である。
- ・ 1年間ぐらい単位互換可能な協定校へ学生を派遣し、単位を取らせるようなことを、すぐにでも取り組んでみてはどうか。  
→ 日本人学生を海外の協定校に派遣する制度は既に相当数あるが、実際のところ応募者がいない。これについては、大学側の問題だけではなく、社会全体の仕組みも大きく関係しているのではないかと思う。

#### 【その他】

- 1 平成23年度経営協議会開催日程について  
平成23年度の本会議の開催日程（予定）について案内があった。
- 2 次回の開催について  
次回は平成23年3月17日（木）に開催予定である旨の案内があった。

#### 【懇談】

会議後、九州大学の男女共同参画に関する取り組みについての説明があった後、男女共同参画に関する本学の現状・取組等について懇談を行った。

（ 以 上 ）